

第2章 点検・評価の概要

1	目的	8
2	実施方法等	9
3	札幌市教育アクションプラン（後期）の施策体系.....	10

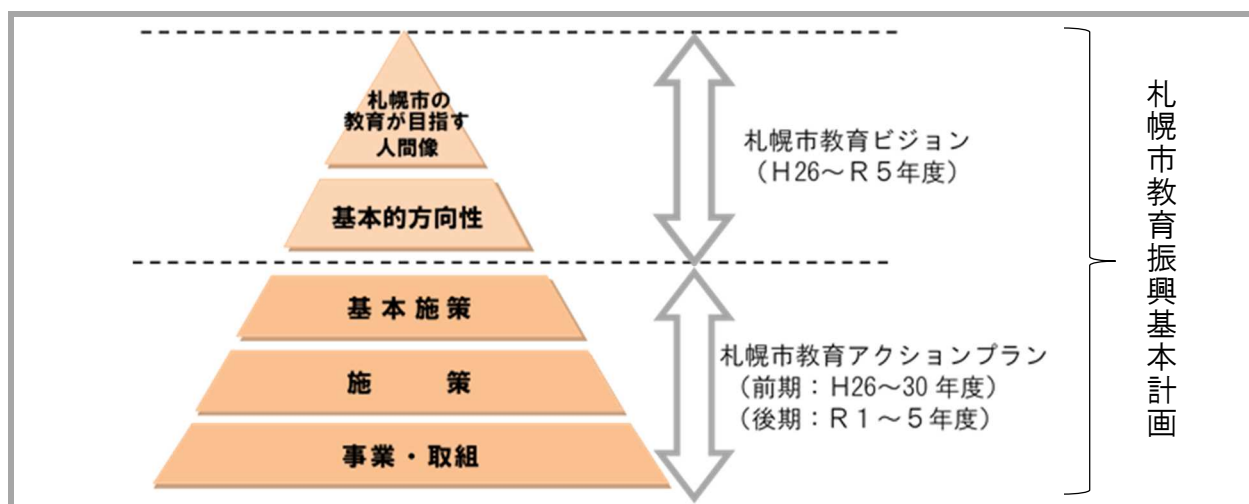
1 目的

札幌市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条（※）に基づき、毎年、教育委員会事務の点検・評価を実施しています。点検・評価の結果については、報告書として札幌市議会に提出するとともに、市民に公表しています。

点検・評価は、平成26年に策定された「札幌市教育振興基本計画」（以下、「基本計画」という。）の進行管理も兼ねており、点検・評価の結果を次年度以降の施策の推進や改善に反映することで、より着実に基本計画を進行させています。また、令和2年度から令和6年度までの点検・評価は、平成31年4月に改定された基本計画の進行管理に活用することとしています。

札幌市教育振興基本計画について

札幌市の教育の目標や方向性を明らかにするとともに、これらに基づく教育に関する施策を総合的・体系的に進めていくことを目的として平成26年に策定された計画です。札幌市教育アクションプラン（後期）の策定に伴い改定し、平成31年4月に基本計画＜改定版＞を施行しました。



（※） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施方法等

教育委員会事務の点検・評価に当たっては、札幌市教育アクションプラン（後期）で計画している全事業・取組について、令和5年度中に実施した内容に関する自己評価を行ったほか、各成果指標の動向をまとめています。

また、点検・評価結果の客観性を確保するため、以下の2名の学識経験者から意見をいただくとともに、それらの意見を受けて、教育委員会の見解を示しました。

さらに、本報告書は、教育長及び教育委員が、令和5年度の教育委員会事務事業における課題や、今後の方向性について協議を行い、その内容等を踏まえて作成しました。

なお、本報告書の第3章では、点検・評価の結果を教育アクションプラン（後期）の施策体系に沿って、それぞれ3つの基本的方向性ごとにまとめています。

最後に、「資料編」として、各成果指標の動向及び教育アクションプラン（後期）で計画した全事業・取組の自己評価結果を掲載しています。

学識経験者について

- 高久 元 氏（北海道教育大学札幌校 教授）
学校教育に精通する者
- 和田 佳子 氏（札幌大谷大学 教授）
社会教育に精通する者



《協議の様子》

3 札幌市教育アクションプラン（後期）の施策体系

基本的方向性	基本施策	施 策
1 自ら学び、共に生きる力を培う学びの推進	1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進	1 「学ぶ力」の育成 重要
		2 幼児期の教育の充実
		3 「健やかな体」の育成 重要
		4 科学的リテラシーの育成
		5 進路探究学習の充実 重要
		6 生涯にわたる学習の基盤となる資質・能力の育成
	2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進	1 命を大切にする指導の充実 重要
		2 豊かな人間性や社会性を育む学習活動の推進
		3 未来へつながる思いを育む学習活動の推進
	3 ふるさと札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動の推進	1 札幌らしさを生かした学習活動の推進 重要
		2 国際性を育む学習活動の推進 重要
	4 特別支援教育の充実	1 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実
		2 早期からの継続した相談・支援の充実
	5 生涯にわたる継続的・自発的な学習活動の推進	1 多様なニーズに応じた生涯学習活動の推進
	6 一貫性・連続性のある教育活動の充実	1 校種間連携の推進
2 多様な学びを支える環境の充実	1 安全・安心で豊かな教育環境づくり	1 学校教育環境の整備・充実
		2 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備
		3 学校図書館の機能強化
		4 安全・安心な学校給食の提供
		5 安全教育と子どもの安全管理の推進
	2 生涯学習を支える環境づくり	1 生涯学習環境・体制づくり 重要
	3 教職員が力を発揮できる環境づくり	1 教職員の資質・能力の向上
		2 教職員が質の高い教育活動を実現できる環境づくり
	4 学びのセーフティネットの充実	1 安心して学ぶための支援 重要
		2 学びを支える経済的支援
	5 教育の情報化の推進	1 教育活動におけるICT活用の推進
		2 校務の情報化の推進
3 市民ぐるみで支え合う仕組みづくり	1 園・学校と家庭、地域が支え合う仕組みづくり	1 地域に開かれた園・学校づくり 重要
		2 地域の教育力の活用
		3 親子の育ちの支援